

# 福岡環境学際フォーラムのご紹介

Fukuoka Interdisciplinary Forum for Environmental Problems

福岡を拠点とする、専門・所属を超えた環境問題の勉強の場です。

福岡環境学際フォーラム

本フォーラムに関するお問い合わせは、お気軽に  
[mail@fukuokagakusai.com](mailto:mail@fukuokagakusai.com)

→ トップページ TOP PAGE

→ 趣旨・運営メンバー AIMS & CORE MEMBERS

→ 定例研究会 MEETINGS

→ 関連事業 SIDE EVENTS

→ 関連リンク LINKS



**WELCOME TO OUR  
COMMUNITY IN THE WEST!!**

**福岡環境学際フォーラム**  
Fukuoka Interdisciplinary  
Forum for Environmental  
Problems (FIFEP)  
運営代表：小出秀雄（西南  
学院大学経済学部）

このたびはご訪問いただき、まことにありがとうございます。  
こちらは、福岡環境学際フォーラムのホームページです。  
本フォーラムは、福岡市内の大学に所属する環境問題の研究者有志を中心に、文系理系、産官学民といった  
既存の枠組みを意識せずに勉強し、議論する場です。  
ご関心のある方々の、定例研究会や各種イベント、メーリングリスト、Facebookページへのご参加をお待  
ちしております。

Thank you for your visiting a homepage of Fukuoka Interdisciplinary Forum for Environmental  
Problems, FIFEP in short.

小出 秀雄 (同フォーラム 運営代表)

2014年8月9日

<http://fukuokagakusai.com/>

# フォーラムの趣旨 (2014年4月現在)

- ① 福岡を拠点に、九州・近隣諸国における環境問題の学際的検討と政策提案
- ② 特に、問題解決のために都市間連携、広域連携、国際連携を必要とする分野に着目
- ③ 3カ月に1回程度、フォーラム主催の研究会および懇親会を開催（西南学院大学近辺）
- ④ ネット（[HP](#), [Blog](#), [Facebook](#), [ML](#)）を利用した活動記録や関連情報の公開、意見交換、共同研究・助成事業の相談など

# フォーラムの運営メンバー (2014年4月現在)

岡 重男 : 公益社団法人福岡県産業廃棄物協会

【専 門】 廃棄物工学

勢一智子 : 西南学院大学法学部

【専 門】 行政法、環境法

鄭 雨宗 : 福岡工業大学社会環境学部

【専 門】 環境経済学、地球温暖化政策

中山裕文 : 九州大学工学研究院

【専 門】 環境システム工学、廃棄物工学

松田晋太郎 : 環境テクノス株式会社、合同会社ひびくー

【専 門】 廃棄物管理、バイオマス利活用

渡邊智明 : 九州大学グリーンアジア国際リーダー教育センター

【専 門】 国際政治・政治学、環境政治

# フォーラムM Lの登録者の所属

【大 学】 鹿児島大学、九州産業大学、九州大学、下関市立大学、西南学院大学、西武文理大学、中京大学、東海大学、東北大学(元)、徳島大学、富山大学(元)、福岡女子大学、福岡工業大学、福岡大学、北海学園大学、山口大学

【研究機関】 (財)国際東アジア研究センター

【行 政】 福岡県環境部、福岡市環境局

【社団法人】 (一社)資源循環ネットワーク、(公社)福岡県産業廃棄物協会

【企 業】 (株)エコテック、環境テクノス(株)、西部ガス(株)、西日本技術開発(株)

【N P O】 再生可能エネルギー推進市民フォーラム西日本ほか

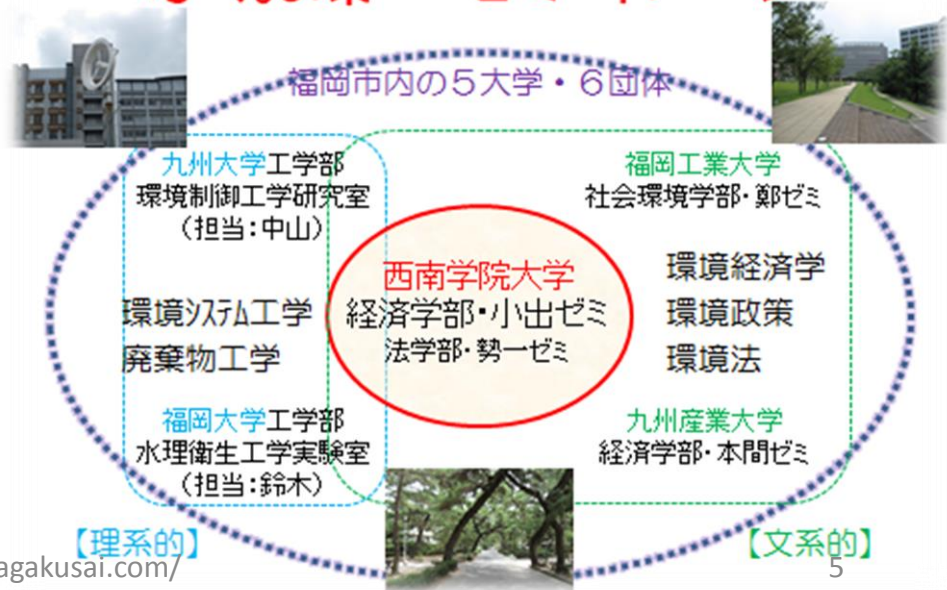
※2014年4月現在、五十音順

# フォーラムの活動実績〔教育関連pickup〕

- 後援（3カ年、2012年度後期～2015年度前期）：  
 西南学院大学教育インキュベートプログラム：  
 福岡超大学環境ゼミナール～「ふくお環かんゼミ」で創る学生の環わ～



## ふくお環かんゼミ・イメージ





# フォーラムの活動実績〔教育関連pickup〕

## ■ エフコープ環境助成事業（1カ年、2013年度）： 「ふくお環かんたび」（コンテスト）事業



ABOUT ● 事業について    TEAMS ● 参加チーム    REPORT ● 活動レポート    TRAIL ● おすすめスポット    PICTURE ● 写真集



# フォーラムに関するネット情報

- ホームページ版 : <http://fukuokagakusai.com/>
- ブログ版 : <http://fukuokagakusai.seesaa.net/>
- Facebook : <https://www.facebook.com/fukuokagakusai>
- Mailing List : <http://www.mlist.ne.jp/usr/fukuokagakusai/>

～お問い合わせ先～

〒814-8511

福岡市早良区西新6-2-92 西南学院大学内

福岡環境学際フォーラム



担当 : 小出秀雄(Hideo Koide)

[koide@seinan-gu.ac.jp](mailto:koide@seinan-gu.ac.jp)

TEL:092-823-4318(直通)





福岡環境学際フォーラムは、福岡市内の大学に所属する環境問題の研究者有志を中心に、次世代環境・都市と自然の持続性を意識せしめ発信し、議論する場です。

色んな人が関わり、意見を交わし、見方を  
変えることができて、→おもしろい!!  
→

本フォーラムは現在、次の趣旨を掲げて活動しております。

- (1) 福岡を拠点に、九州・近隣諸国における環境問題の学際的検討と政策提案
- (2) 特に、問題解決のために都市間連携、広域連携、国際連携を必要とする分野に着目。  
例えば、地球温暖化(気候変動)対策、越境汚染対策、漂没・漂着ごみ対策、地域振興の形成、国際資源循環の適正管理、都市と自然の共生、生態系ネットワークの形成、など。

学際 (interdisciplinary)  
↳ 研究領域の学際分野にわたること  
(大雑把)

毎年、色んな課題を取り扱います。  
→ 10月頃が中心です。

年度	研究員内覧
平成29年度	研究員内覧
平成25年度	研究員内覧

(3) 3カ月に1回程度、フォーラム主催の研究会および懇親会を開催 (早良区西新近辺)  
(4) SNS活用



お問い合わせ先:  
〒814-8511  
福岡市早良区西新 6-2-92 西南学院大学内  
福岡環境学際フォーラム  
担当: 小出秀雄 (Hideo Koide)  
koide@seinan-gu.ac.jp TEL:092-823-4318(直通)

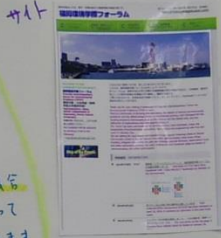
研究会 写真  
↳ つもおいて1時間の3時間です。  
↳ 色んな議論が熱戦  
いけいけ!!



目録しているところ  
環境問題の飛躍を  
実現せよ!! "社会生活"人材  
の育成 (5月20日 16:00~18:00)

この中で、世代間対話、支援活動  
をキーワードとした活動をもって  
環境問題へのアプローチしています。  
↳ フォーラムの特色です!!

<https://www.p-ed.go.jp>  
ふくおか県民生活、  
ふくおか県民生活の  
発展を促しています。



<http://fukuhagakusai.com/>

日常的な情報の天の川 "メールマガジン" で送っています。  
↳ メールマガジン参加者  
↳ 大分県庁、福岡県庁、佐賀県庁、  
熊本県庁、長門県庁、長門県庁

(4) インターネット (ホームページ、ブログ、Facebook、メールマガジン) を利用した  
活動記録や関連情報の公開、意見交換、共同研究、助成事業の相談など  
(5) SNS活用



ブログ [fukuhagakusai.secret.net](http://fukuhagakusai.secret.net)  
(html)

facebook ページ  
(毎日、"いいね"の数が増えていきました。)

学生の自主管理の  
活動 (若手研究者の活躍) を  
目指すプロジェクト

平成25年度エコクラブ環境助成事業  
ふくお環境たび事業

# 福岡環境学際フォーラム

学生の発表を介して  
色んなことを学びたい!!

第12回研究会  
2019年7月5日 (土) に開催



各々、楽しい日帰り旅行を  
提案してくれました。 → 黄色いUP!!



メールマガジン登録チーム  
<http://fukuhagakusai.com/tab/>  
(facebook ページもあり)



西南学院大学教育イニキエートプログラム  
福岡超環境ゼミナール ~ "ふくお環境たび" で創る学生の未来 ~



視察 研究会  
岡崎光電施設  
(熊本県)  
自然の"五感"を  
使った月ごとの取り組みをしよう。



夜間+ついでに、  
peerconference  
2019  
ふくお環境たびPR



発表の準備ができたので  
色んな活動で  
色んな活動 (5)

学生の自主的な活動で、  
この学生の取り組みを  
各教員が日頃の教育内容を  
見直し、改善していくことも  
想定しています。

みんながレベルUP!!